

Montessori ちゃいるどはうす中吉田事業報告書

令和6年3月2日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は、モンテッソーリ教育を土台とした保育・教育を行う。自然体験活動を中心とした実体験を通して子どもたち自身が自らの『生きる力』を発見し、伸ばしていくことのできる環境を愛と知識を持って提供する。

2 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき、養護と教育の一体化を図りながら、子どもと大人が主体的に関わる保育を行うとともに、地域の子育て支援を充実させる。

3 保育所の運営

沿革	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月 小規模保育所 Montessori ちゃいるどはうす草薙 開園 平成27年11月 地球の子ども株式会社設立 平成29年4月 Montessori ちゃいるどはうす中吉田 開園 						
開所日・開所時間	月曜日～土曜日 7:30～18:30 (延長保育18:30～19:00)						
休園日	<ul style="list-style-type: none"> 日曜日、国民の祝日及び休日 年末年始(12月29日～1月3日) 法人が特別必要と認めた日 						
年齢別入所児数 (令和6年3月1日現在)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	12	12	12	12	12	11	71名
職員数 (令和6年3月1日現在)	園長兼教育長 1名 施設長 1名 会計主任 1名 主任保育士 1名 教育長補佐 1名 事務主任 1名 保育士 14名 調理師 2名 バイリンガル常勤講師 1名 保育補助 3名 (計 26名)						
職員保有資格等	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・幼稚園教諭・小中高(美・理・数)特別支援学校教諭・言語聴覚士 モンテッソーリ教育教師・栄養士・調理師・幼児体育指導者・児童厚生指導員 社会福祉士・児童福祉士・知的障害者福祉士・行動心理士・子育て支援員 チャイルドコーチングカウンセラー・児童指導員・家族療法カウンセラー 福祉環境コーディネーター2級・農業専門技術員・フラワーアレンジメント3級 レクリエーションインストラクター・ベビーマッサージインストラクター キッズ、マタニティーヨガインストラクター・ピアノ指導グレード6級 食物検定3級・英語検定2級・IFT色彩検定3級・宅地建物取引士 2級ファイナンシャルプランニング技能士 						

4 保育

(1) クラス編成

【1階フロアー】プーポ組(0歳児)ピッコロ組(1歳児)ピッチーノ組(2歳児)

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

1段階目 歩けるようになる

2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになる。

3段階目 座って手指の活動ができるようになる。言葉が増える。

4段階目 着脱、排泄、食事など日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でやりたいと思うようになる。

【2階フロアー】マーレ組(3歳児)テーラ組(4歳児)チェーロ組(5歳児)

運動機能をより洗練し、お友達と一緒に知的好奇心を探求していく就学までの縦割クラス。日常生活の練習・感覚教育・算数教育・言語教育・文化教育(自然、音楽、美術、体育、理科、社会、食育)などの各分野の専門的な援助を行う。

(2) 保育計画作成・記録の実施

- ・ 児童票に基づく月案作成 (毎月)
- ・ 月案に基づく週案作成 (毎週木曜日の午睡時)
- ・ 日報 (観察記録0歳～2歳)
- ・ 午睡チェック表 (毎日0歳児)
- ・ 食物アレルギー調査票 (毎月対象児)
- ・ 活動記録日誌 (幼児)
- ・ 児童票記録 (毎月)
- ・ 次年度引継ぎ表の作成 (全園児3月作成)
- ・ 保育所児童保育要録 (5歳児)

(3) 給食の実施

安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねる。

- (0歳児) 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への段階別給食の提供
- (1歳児) 園児の発育状況に合わせ、完全給食の提供
- (2歳児以上) バイキング給食 (コロナ感染症5類移行に伴い再開)
- (全園児) おやつ提供
- (特別給食) 行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当・お楽しみおやつ
豊かな食の環境を目指したトライアルメニュー
(世界の料理、日本の郷土料理、土用の丑の日などの季節のランチ)
- (保護者) 給食参観会→ (コロナ感染症5類移行に伴い再開)
給食献立表配付 (毎月) 給食便り (年4回)
本日の献立の写真掲示および明日の献立表示 (毎日)
- (給食会議) 子どもの給食時の様子や献立等給食担当と保育担当との情報交換 (毎月)

食事が子どもの健やかな心の発達を促す場であると捉え、以下のことを大切にする。

- ① 食事が楽しい時間となるよう努める。
- ② 離乳期を大切に過ごす。
- ③ 子どもが自分の量や、好みの選択ができるよう考慮する。
- ④ 子どもが「食べたくない」時があることを大切に考える。
- ⑤ 守るべき食事のルールを伝える。
- ⑥ 食べ物を粗末にしない。 ⑦ 食事を処罰に使わない。
- ⑧ 栄養士・保育士・バイリンガル講師による献立 (食品および栄養素) の説明

(4) 健康・衛生管理

項目	内容等	実施回数
園児健康診断	内科健診 (村上小児科：村上仁医師)	年2回
	歯科検診 (かめやま歯科：亀山太一医師)	年2回
	尿検査 (静岡県予防医学協会)	年1回
園児口腔衛生	歯科衛生士による歯みがき巡回指導 (3歳児以上)	年1回
	フッ化物洗口 (給食後4歳児以上)	毎日
	緑茶うがいの実施 (給食後乳児クラス)	毎日
園児体調管理	健康チェック表の記録 (乳児は連絡帳利用)	毎日
	身体測定	月1回
	こまめな水分補給の実施	随時
	手洗い、うがい指導の実施	随時
感染予防・衛生管理	手洗い、消毒の徹底	毎日随時
	次亜塩素酸による床、トイレ、教具の消毒	1日2回
	おむつ交換時、使い捨て手袋を使用	随時
	紙おむつ自園処分 (持ち帰りなし)	毎日
	加湿空気清浄器を各クラスに設置	常時稼働
	温湿度計設置	常時稼働
	洗濯物の分別 (床拭き、床以外、次亜塩素酸用雑巾)	毎日
	消毒液の各クラスと玄関ドア前設置	毎日
	※職員と幼児のマスク着用→個人判断による	
	※給食時の対面にならないテーブル使用→対面再開	
	※バイキング給食の中止→徐々に再開	
※黙食の徹底→黙食を見直し、徐々に緩和		
※玄関での園児の送迎→保育室前で引き渡し (幼児のみ)		
職員健康管理	定期健康診断	年1回
	検便 (赤痢菌・サルモネラ菌・腸チフス・パラチフス・病原性大腸菌O-157)	毎月1回

(5) 保護者との連携

- ・ホームページでの情報公開とトピックス更新（常時）
- ・園だより（月1回）松浦公紀名誉園長によるモンテッソーリ教育コラム掲載
- ・松浦公紀名誉園長による保護者研修会の開催（本年度9月29日）
- ・クラスだより（季節ごと年4回）
- ・連絡帳（随時）
- ・苦情解決システムの継続
- ・保育給食参観（各家庭1回）及び個別面談（必要に応じて随時）
- ・子育て相談（必要に応じて随時）
- ・食に関するアンケートの実施
- ・年度末アンケートの実施
- ・保護者ボランティア参加による行事開催

※令和5年度保護者ボランティア参加行事

行事	人数	内容
夏祭り	7	・屋台
ハロウィン	10	・パレード引率・仮装参加
はばたきの会	5	・動画撮影・動画配信調整等

(6) 発達支援（個別の支援の検討・計画・実施・報告）

保育園という集団生活の中で、個々の成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立していくために必要な支援を保護者、保育士、指導担当との相談の上、個別に支援を行う。

(7) 地域・他機関との交流（機関名）

- ・近隣住人・中吉田自治会・春日整備・HSC・石村金属株式会社
- ・消防署・ショクザイ・スーパーアンドウ・スター精密株式会社
- ・英和学院大学留学生センター ・台湾モンテッソーリ教育視察団
- ・港区三田クランテテ保育園職員参観（モンテッソーリ教育実践園）他

4 職員研修の実施

研修名	研修内容（実施場所等）	人数（担当）
静岡県保育士等 キャリアアップ研修 （令和5年度実施分）	マネジメント	2名
	乳児保育	2名
	保護者支援子育て支援	2名
	幼児教育	1名
	障害児保育	1名
こども園公開保育研修 （4園）	公開保育参観 情報交換 教育・保育に関する講義受講	幼児担当4名
モンテッソーリ教育	外部専門講師による現場実践指導及び事後研修 外部専門講師による実践のオンライン指導及び事後研修、計画書作成（現場とオンラインそれぞれ隔月）	クラス毎 全職員
	静岡モンテッソーリ教育研究会定例研修会（2回）	全職員
	北関東モンテッソーリ教育研究会0～3歳コース受講（修了）	6名
	North American Montessori Center-Canada NAMC 幼児モンテッソーリデュプロマプログラム受講（修了）	バイリンガル講師
	北関東モンテッソーリ教育研究会研修（年3回）	6名
	沖縄モンテッソーリ教育研究会	1名
バイリンガル研修	バイリンガル教育実践研修 活動のレクサンプラン作成、実践 フィードバックミーティング及び報告書の作成	バイリンガル講師 活動担当者
その他	静岡駿河区消防署救命救急講習	全職員
	静岡県幼児教育の理解・発展推進事業都道府県協議会 乳幼児保健研修会 子どもの歯と口の健康づくり研修会	各1名

5 施設管理・防災対策

(1) 施設の整備・管理・安全点検

- ・ヒヤリハット事例検討及び対応
- ・安全管理危機管理チェックリストによる安全確認（毎月）

- ・施設整備 (令和5年度：トイレドア、エアコンの保守点検、給食室吸排口の取り付け、1階保育室の棚の取り付け)
- (2) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理
 - ・食料・水の点検 (全園児・全職員3日分購入点検済み)
 - ・避難用具 (救助袋) 設置・災害時用品の点検
 - ・防災倉庫の購入
 - ・AEDの設置1台 (毎年更新) の点検
- (3) 非常災害防止の実施
 - ・避難訓練 毎月1回 (地震 火災 不審者)
 - ・総合防災訓練 年1回
 - ・交通訓練 園外活動時毎回実施
 - ・静岡南警察署交通安全指導員による交通安全教室 (幼児クラス)
- (4) 外部機関による防災設備確認
 - ・駿河区消防署監査 (4月) 指摘なし
 - ・防災・防災センター首藤商会による設備第三者点検 (11月) 異常なし

6 第三者委員会

- ・掲示板、ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置、および、回答の徹底 (待合室掲示または、ホームページにて公開)
本年度苦情無し

7 行政監査 10月実施 指摘事項無し

8 保育目標

(1) 令和5年度保育目標

- 『自分のことが自分でできる子』
- 『いろいろなことに挑戦できる子』
- 『やさしく強い心を持った子』

(2) 歳児別目標

歳	目 標
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ ・一人ひとりの生活リズム (食事、排泄、睡眠) で心地よく過ごす ・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ ・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう ・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ ・基本的生活習慣の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関わりを広げる ・自分の思いを言葉や行動で伝える
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って取り組み経験を増やす ・身支度や後始末を自分で行う ・異年齢での集団遊びや生活を楽しむ
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを生かし自ら挑戦する ・自分のやるべきことが分かり自分から行動する ・自分の気持ちと相手の気持ちの違いを知り友だちと関わる
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信を持ち様々なことに挑戦する ・自分で考え行動することができる ・お友だちの気持ちを知り協調しながら問題解決をしていく

9 特別教育

(1) モンテッソーリ教育

『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに、子どもが個々の発達に見合った環境と主体的に関わりながら成長できるように環境を整えた。

発達段階に応じて以下の分野の活動を展開し、様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ね視野を広げながら、「自分で出来た」という自信と意欲向上に繋げる。

教育分野	活動内容
日常生活の練習	生活に必要な活動を通して自分の身体を意志通りにコントロールする能力を養う。
感覚	感覚体験の整理をしながら観察力や思考力を身に付け、感覚器官を洗練していく。
言語	語彙を豊かにしながら、最終的には文法を意識した母語の理解力と表現力を養う。
算数	量や数への興味が出てきた頃に具体的な教具を使って数の法則や計算方法を学ぶ。
文化	歴史、地理、地学、動・植物等、多様な興味の種蒔きをしていく総合学習の場
平和	他者との違いを受け入れ、互いに尊重し協力しながら思いやりや平和への思いを育む。
音楽	世界の音楽を楽しみ、聴く事、歌う事、踊る事、楽器を鳴らす事などで表現する。
美術・造形	目と手の協応動作の獲得を促し、思いのまま自由に表現する事を楽しむ。

(2) 自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供し、ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育むために以下の活動を展開した。

<飼育体験>

幼児クラスの生物室では、園庭で見つけたバッタやおおむし、ダンゴ虫等様々な生物に興味、関心を持ち、子どもたちが「生物係」の役割をもって飼育。園庭隅に「生物のお墓」スペースを作り、「生」から「死」まで責任をもってお世話する気持ちを育んだ。
(飼育生物)・金魚・メダカ・蝶(幼虫)・カブトムシ(幼虫)・カタツムリ・サワガニ・ザリガニ等

<栽培・収穫体験>

月	内容
2月	グリンピースの種まき(3歳児以上) :
4月	夏野菜の種まき・植え付け : トマト・きゅうり・ピーマン・赤しそ・オクラ(1歳児以上)
5月	○グリンピース収穫(幼児) : さやから豆を出すお仕事→グリンピースごはん(給食室で調理) ○★ジャガイモ収穫(2歳児以上)
6月	○さつまいも植え付け(2歳児以上) ○夏野菜収穫(1歳児以上) ・トマト・きゅうり : その場で試食
7月	: クッキング(たたききゅうり)(1歳児以上) ・オクラ・ピーマン : 断面を切って形を見て楽しむ。 : 中身の観察、野菜スタンプに使用
8月	・しそ : しそジュース作り(幼児) : しそふりかけ作り(幼児)
9月	○冬野菜植え付け ・ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー(2歳児) ・人参・大根 種まき
10月	★落花生収穫
11月	★さつまいも収穫 : クッキングでスイートポテトに使用(1、2歳児) : 乳児はふかして試食 幼児はスイートポテト作り・試食 : つるでクリスマスリース作り(幼児)
12月	○いちごの苗を植える(2歳児) ○グリンピースの苗を植える(2歳児) ○冬野菜収穫 ・ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー : 茹でて試食(給食室で調理) ・大根 : 収穫後、各クラスでスティックや浅漬けにする(残りを給食室で調理)
1月	○園庭はるみ収穫 : 試食(全園児)
1月	★大根収穫(幼児)
2月	○じゃがいも : 種芋の植え付け(幼児)

★塚本農園での体験(園バス利用)

<花壇>

子どもたちが自由に摘んで、保育室に飾りやすい草花(季節を代表する一年草、摘んだあとも次々につぼみがつく、茎が強く長い、開花時期が長い)の種類を主体に植栽。

季節	植栽種類
春	チューリップ、ムスカリ、ビオラ、キンギョソウ、スイセン、ノースポール等
夏	マリーゴールド、ヒマワリ、フウセンカズラ、ジニア、トレンシア、サルビア等
秋～冬	マリーゴールド、ジニア、千日紅、コリウス、コスモス等
通年	触って香りを感じられるハーブ（ローズマリー、レモンバーム、タイム、ミント、グレコマ）
12月	チューリップの球根植え付け（クラスで色を決定し、一人一つずつ植え付ける。）

- ※ハーブは摘み取ったのち乾燥させ、お風呂用のハーブ袋にして配布（本年度は20袋程）
- ※外の壁面下は危険防止も含めプランターを並べる（春、秋2回乾燥に強い草花を植栽）
- ※園庭の落ち葉と雑草で、腐葉土作り。幼児がお仕事として落ち葉集めをし、腐葉土作りを体験。チューリップ植え付け時に使用。

<散歩>

中吉田公園、中ノ郷公園、谷田宮の後公園、谷田芝生広場、県立美術館、熊野公園、国吉田公園、瀬名川南公園、瀬名川公園、ひょうたん塚公園、清水山公園

<川遊び>（園バス利用）

7月～9月 長尾川親水公園（塚本農園近く）（2歳児以上）

(3) バイリンガル教育

対象	0～5歳児
目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興味関心を育む。 英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わろうとする意欲を育む。 日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。 フォニックス音を体験できる LessonPlan 環境の整備
内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラムを展開する バイリンガル講師と毎日一緒に生活し、日常的に関わることのできる環境を用意した。 各クラスのバイリンガルデイには英語による給食の食材紹介をした。 バイリンガルの時間を設定し、英語の発音を聴きとったりするとともに幼児クラスでは、聞いた音（フォニックス音）と文字とを結びつける活動を行った。 日常生活の中で、大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やした。 年長児スペシャルプログラム（10月以降午睡時） フォニックス音をアルファベットに対応させながら小学校に入学するまでに読み書きの土台を形成するための活動を行った。

(4) プログラミング教育

対象	年長児
目的	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりのゴールを決め、それに到達するための行程を順序だてて論理的に考える力を育む
内容	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング活動を支えるための認知力等を高める運動や遊び ロボットを使ったプログラミング体験 基本的なパソコンの操作体験

(5) 音楽リズム

対象	0～5歳児
目的	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく音楽と触れ合いながら、こどもの心と体の発達の可能性を広げる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を体全体で感じ、楽しむリズム遊び さくらさくらんぼ体操

(6) リーベ式運動遊び、ボルビ（ボール遊び）※外部講師による

対象	3～5歳児
目的	<ul style="list-style-type: none"> 室内や屋外で思い切り身体を動かし、リズムやバランス感覚を始めとした運動調整能力を高める。 友だちと一緒に活動することを通して仲間と協力する喜びや貢献感を得て自信をもつ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 月1回（リーベ式）1回45分程度 子どもの「興味」「関心」「意欲」を自然に引き出し、思い切り身体を動かすことができるようにイメージ（物語）に入り込んで遊ぶ。 グループやチームになって活動する中で、互いに動きを観察したり応援したりする。

(7) 日本文化体験 ※外部講師による

対象	2～5歳児
目的	・華道、書道、茶道等、日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養う
内容	・華道（生け花） ・フラワーアレンジメント ・書道（毛筆） ・茶道（煎茶の作法） ・幼児クラス 週1回（華道、書道、茶道のいずれか）45分 ・2歳児クラス 月1回（フラワーアレンジメント）30分程度

(8) スイミング ※中田スイミングスクール

対象	3～5歳児
目的	・水に親しみ、着替えや、準備運動や入水などの水泳の基本を身につける。 ・大きなプールで水泳を楽しむ。
内容	・年間10回 1回1時間（バスによる送迎有） ・中田スイミングスクール指導員による水泳指導

10 保育協力金（モンテッソーリ教育・バイリンガル教育）会計報告

(1) モンテッソーリ教育

収 入			支 出		
項目	総額（年額）	備考	項目	総額（年額）	備考
保育協力金	830,320	1人1000円/月	外部講師代	830,320	
計	830,320		計	830,320	不足分園負担

(2) バイリンガル教育

収 入			支 出		
項目	総額（年額）	備考	項目	総額（年額）	備考
保育協力金	830,320	1人1000円/月	常勤講師代	830,320	
計	830,320		計	830,320	不足分園負担

8 令和5年度主な行事

月	内 容
5月	こいのぼり集会
6月	親子レクリエーション ストライダー活動開始 ジャガイモ掘り（2歳児以上） *幼児動物教室 積み木教室（0,1歳児）
7月	七夕集会 清水の七夕見学（幼児：公共交通機関利用） 交通安全教室：静岡南警察署（幼児） 消防署花火教室（幼児） *川遊び（～9月）（2歳児以上） 音楽会（ママミュージックあらかると演奏会） 夏のパワーランチ（うなぎ）
8月	夏祭り 夏フェス スイカ割り大会
9月	ジョリーパスタ食事会（幼児お金の勉強） 保育・給食参観会（9月～12月） 中吉田自治会主催敬老会（幼児希望者） 粘土教室（幼児） 保護者モンテッソーリ教育講演会

*行事・自然体験等園バス利用回数 延べ39回

月	内 容
10月	落花生の収穫（ピッコロ以上） ハロウィンパレード サツマイモ掘り
11月	*サッカー教室（チェーロ） 音楽会 （富士山静岡フィルパーカッションアンサンブル） 粘土教室（幼児） 歯みがき巡回指導（3歳児以上）
12月	クリスマス会 お弁当の日
1月	鏡開き 大根収穫
2月	節分 環境学習（リサイクルぐるぐるプロジェクト参加） はばたきの会
3月	ひな祭り お弁当ランチ お別れ遠足（るくるを予定） 卒園式